



特定医療法人智徳会

未来の風せいわ病院

地域医療連携室ニュースレター

No.2 平成25年10月発行
〒020-0401
盛岡市手代森9-70-1
電話番号 019-696-2055
FAX 番号 019-696-4185

ごあいさつ



副院長兼看護部長
尾形 和恵

関係機関の皆さま、日頃より当院の運営にご理解・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。ご存じのように、当院は丘の上のリンゴ畑に囲まれた場所に位置し、いま、赤く色づいたりんごが長閑な風景に色を添え甘い香りまでとどけてくれます。

私たちは、このような恵まれた環境の中で、心病む方々の回復のお手伝いをさせていただいておりますが、特にも当院では回復された方々の地域移行実現に向けて多職種が協働して支援に努めております。地域移行実現のためには関係機関の皆さまはじめ、地域の方々のご理解が大変重要となります。

地域連携を通して心病む方々をご紹介しますとともに、その方々が地域へ帰られた後にもお互いに連携をとって患者様のフォローができましたら幸いに存じます。

もうすぐ新病院に移転をして一年になろうとしております。これまでの皆さまからのご厚情に感謝を申し上げますとともに、これからも多くの方々にご利用いただける病院づくりを目指して努力を重ねてまいりますので、今後とも変わらぬご指導をお願い申し上げます。

ごあいさつ



事務長
金野 靖

近年、わが国の財政収支の赤字が長引くなかで社会保障費の圧縮等の影響もあり、医療を取り巻く環境は変貌しております。

精神科医療においても、精神保健福祉ビジョンの基本方針として「入院医療中心から地域生活中心へ」という方策が推し進められており、今後ますます病床機能の役割分担や医療機関間、医療と介護の連携強化が求められるものと思います。

当院では、入院中心の医療体制から地域医療への転換として、入院医療においては疾患別クリニカルパスの導入、外来医療では早期退院を支援する体制として、訪問看護ステーションとデイナイトケアを設置し、地域移行の推進と地域生活支援体制の強化を行ってまいりました。今後とも関係機関の皆様のご意見、ご要望をいただきながら、より良い医療の提供体制を構築していきたいと考えております。

当院の基本理念である「すべてのひとがいきいきと自分らしくいきいきできる地域社会づくり」の下、地域に必要とされ、また地域に開かれた精神医療を実践し、よりよい地域社会づくりの一翼を担える病院であり続けるため努力する所存でございますので、引き続き倍旧のご厚情を賜りたくお願い申し上げます。

～新規の受診・入院相談～

019-696-2055 にお電話下さい。

初診・再診の予約制を実施しております。お電話をおかけの際は、地域医療連携室 看護師長 吉田 とご指名ください。受診の際には、下記のURLから、患者紹介FAX申込書を別途、ダウンロードしてお使い下さい。

URL : <http://www.i-seiwa.com/chiikiiryorenkei.html> FAX:019-696-4185

トピックス

当院各部署を紹介してまいります。
今回は、医療福祉相談室と地域医療連携室です。

■医療福祉相談室



医療福祉相談室長
藤村 真紀子

平成24年4月にこれからの暮らし支援部が誕生し、医療福祉相談室、地域移行推進室、社会復帰支援室、地域医療連携室の4つの部署で業務を行っています。精神保健福祉士は全部で19名です。医療福祉相談室に9名、地域移行推進室に2名、社会復帰支援室に5名、地域医療連携室(アウトリーチチーム)に2名、出向1名です。

〈病棟担当制〉〈入院時本人・家族面接〉

医療福祉相談室、地域移行推進室の精神保健福祉士は入院中の患者さん、家族を対象とし、7つの病棟を1～3名で担当しています。入院時に必ず本人・家族面接を行い、本人には入院形態や入院後の権利内容等を説明し、家族には、家族・経済状況・退院の希望についてお話を伺っています。そして、退院に向けて関係機関との連絡調整や、主治医、看護師、臨床心理士、作業療法士等と協同し、本人・家族の相談・支援を行っています。

〈クリニカルパスカンファレンス〉〈ケア会議〉

新病院の急性期病棟では、ほぼ毎日クリニカルパスカンファレンスを開催し、院内多職種はもちろん院外から障害、介護、行政関係者とのケア会議も開催しています。他の病棟でも定期的にカンファレンスを行っており、本人等面接、関係機関との連絡調整を行って臨んでいます。4年程前より10代の子どもの入院も増加し教育関係者等との連絡調整や会議も増加しています。

〈私服〉

平成22年7月から白衣を脱ぎ、私服で仕事をしています。本人・家族・地域の方等により近づいた環境で安心感をもっているだけの相談ができればと思っています。



●入院中の患者さんの支援等に関する事は担当精神保健福祉士にお問い合わせください

■地域移行推進室



地域移行連携室
藤原 隆之

配属精神保健福祉士は2名ですが、医療福祉相談室の精神保健福祉士も地域移行支援を行っております。その結果、5年以上の入院者が毎年減少し、1年以内の患者さんが増加している状況です。

今年10月1日からは高齢精神障害者地域移行事業の委託を県から受け、地域の方々と一緒に高齢精神障害者の方の地域移行の仕組み作りを進めて行ければと思います。

●地域移行支援に関することにつきましてはお問い合わせください

トピックス

■ぴありんくパーティが行われました

9/27(金)ホテル東日本にて、「第14回ぴありんくパーティ」を行いました。「ぴありんくパーティー」は、地域生活している当事者の方々と当院はじめ地域の通所系事業所等の支援者との交流会です。参加者は129名で、楽しく、盛大に開催することができました。毎年、実行委員は当院スタッフの他に、当院グループホーム・デイケア・デイナイトケアを利用されている方7名が参加し、企画・運営を行いました。

当事者実行委員の2名から感想を頂きましたので、ご紹介致します。

●「カラオケをする機会をもらい、仮装をしようと考えました。3日間練習しましたが、前日は緊張し、興奮して眠れませんでした。当日はデイケアスタッフに協力してもらい衣装を変え、化粧もしました。最後になりましたが、パーティーに参加していただきました皆様方誠にありがとうございました。」

(実行委員：T.Y)

●「みんなが楽しくできること、一人一人が楽しいなあとと思うことをみんなで共有できればいいなと思って企画しました。大変だったけど、後から喜びになりました。」

(実行委員：I.H)



■家族教室の予定(11月・12月)

●カフェー絆ー（統合失調症理解のための家族教室）

●11月20日（水） 14:00～16:00 当院せいわホール

【内容】～これからの生活のために～

講師：未来の風せいわ病院

看護師・精神保健福祉士

●12月18日（水） 社会復帰施設見学会

※見学施設は未定です。



●カフェー結ー（認知症理解のための家族教室）

●11月27日（水） 9:00～15:00 施設見学

【内容】

ケアセンター南昌、アンビシャスシティ志家を施設見学します。

※外部の方の参加もご参加いただけます。事前申し込みが必要です。詳しくはホームページをご覧ください。か当院家族支援委員（鈴木・本間）にお問い合わせ下さい。尚、施設見学会は定員がございますのでご了承願います。

当院見学者

月日	団体名	職種	目的	人数
8/2	花北病院	常務 設計事務所職員	施設見学	2
8/9	岩手県立大学 社会福祉学部	教員 学生（4年生）	ゼミ企画	4
8/27	葛巻町 健康福祉課健康係	精神保健ボランティア	施設見学・アウトリーチ視察	20
9/10	むつ総合病院	看護師、作業療法士	視察研修	4
9/11	医療法人 杏和会 阪南病院(大阪)	医師、看護師 他	視察研修	23
10/3	戸田建設(株) 本社		本社視察	6



～視察見学の模様～

病院へのアクセス



特定医療法人 智徳会

未来の風せいわ病院

〒020-0401 岩手県盛岡市手代森9-70-1
TEL: 019-696-2055(代) FAX: 019-696-4185
<http://www.i-seiwa.com>

■バス

●長岡線・日詰駅前行き

盛岡駅（5番）発又はバスセンター（構内3番）より乗車、手代森ニュータウン北口降車（約20分）バス停より徒歩5分

●日赤経由・ふれあいランド経由川久保線、乙部線手代森ニュータウン南口行き又は乙部行き

盛岡駅（5番）発バスセンター（NANAK[旧中三]向）経由、手代森ニュータウン北口降車（約20分）バス停より徒歩5分

●中央線・都南の園営業所行き

盛岡駅（5番）発バスセンター（NANAK[旧中三]向）経由、手代森ニュータウン入口降車（約30分）バス停より徒歩3分



■車

●盛岡駅から車で20分

（国道4号・396号経由 都南大橋過ぎセブンイレブン左折後、500m左側）

●東北自動車道 盛岡南ICから車で15分

（県道36号・国道396号経由 同上）

※無料駐車場完備